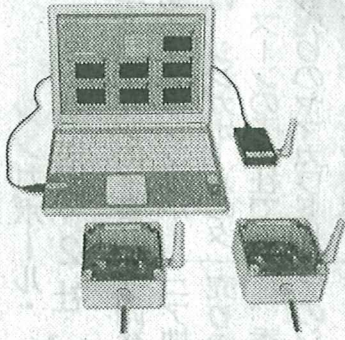




振動計測、無線型に力

システム ファイブ 2軸加速度計を発売

【長崎】システムファイブ（長崎市、佐藤康彦 社長、095・856・6160）は、橋やトンネルなど大型構造物の振動を計測する無線型2軸加速度計を発売



無線型2軸加速度計には最大7機まで子機が設置可能

売した。同社が無線型加速度計を発売するのは初めて。構造物の振動をデータで読み取り、補強工事の必要性を判断する際などに用いる。子機は最大7機まで設置でき、親機とは250m離れて計測可能。価格は親機、子機各1台にソフトを加えた基本システムで約30万

円。
振動はX、Yの2軸で重力の加速度（G）を基に測定する。データ転送の周波数は100Hz。有線による加速度計の設置を橋などで行う場合、配線作業に時間を要することから無線型加速度計のニーズが高まっていたという。製品の発売に合わせ、長崎県内の橋2カ所に加速度計を設置し、引き続き実証試験を行っている。
同社は計測や遠隔監視などのシステム開発事業

者。2010年3月期売上高は約2億2000万円。有線の加速度計は全国で3000台の設置実績があるという。佐藤社長は「全国各道府県で2カ所以上の設置を目指したい」と無線型の普及にも意欲を見せている。